

森林組合サービス有限会社

FBG Dienstleistung GmbH

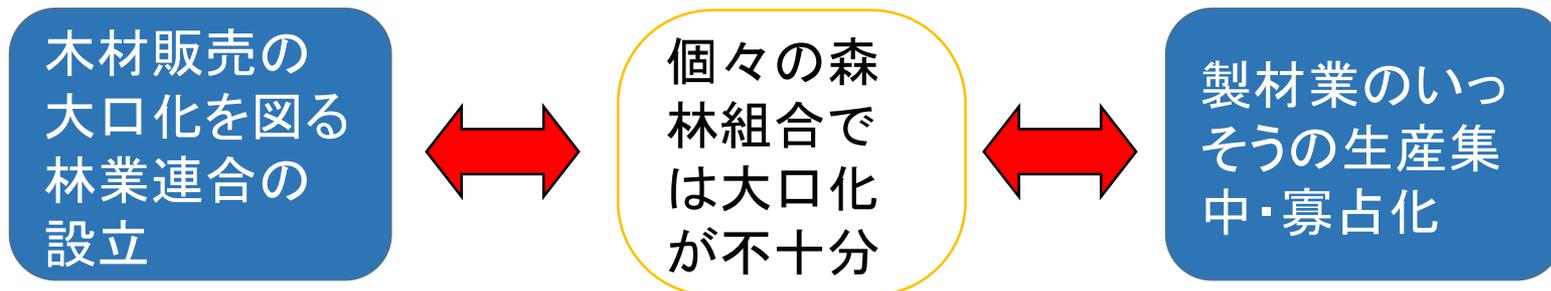
ニーダーザクセン州

- 2011年設立
- 組織系統—地区組合連合(Ober FBG)4組合—単位組合(FBG)19組合、組合員5,700名、組合管轄面積9万5,000ha
- 木材の買取販売(例外としてナラ大径材は市売りのような形。その際は手数料収入(10€/m³))
- 立木買い(バイエルンのように値段が出る材ではなく、マツが中心なので。税制の関係である)
- 取扱量:36万5,000m³(2012年)、マツ83%、トウヒ・ダグラス10%、ナラ・ブナ2%
- 100%自己資金(単位組合からの出資)
- 土場での仕訳は、樹種、径級、長さ、質が重要。収入が最大となるように幹材・梱包用材・製紙用(Indus.Holz)へ仕分ける(Forster⇒請負業者へ指示)
- 販売契約は3か月ごと。以前は1年、6か月ごとであった。契約期間が短くなってきた(木材産業の輸出産業化にともなう木材価格変動の短期化)

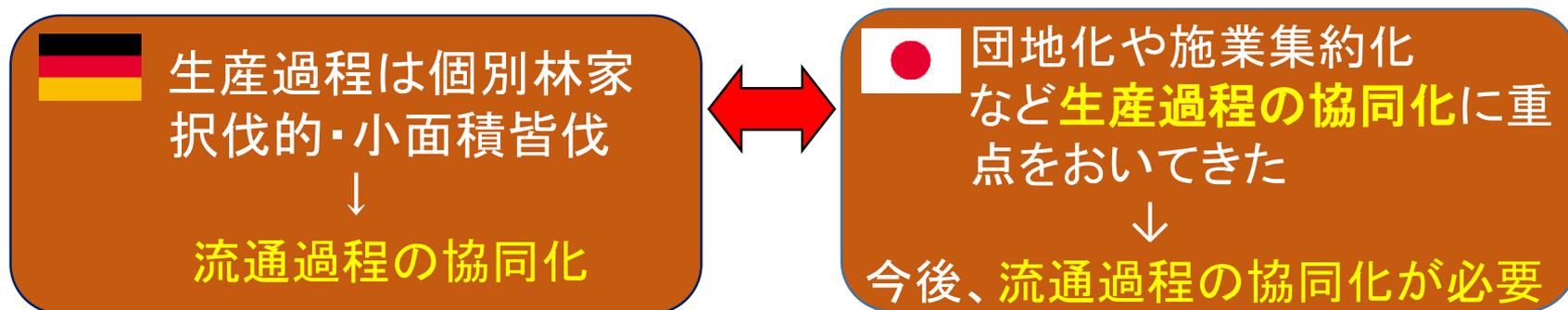


まとめ

- 林業連合の設立は、製材業のいっそうの生産集中を示している



- 木材取引の大口化＝流通過程の協同化が
ドイツの林業での協同化の特徴



ご清聴ありがとうございました



写真:トウヒ林(バイエルン州)